

第2回 地震等災害被害予測調査検討有識者会議 概要

1 日 時 令和8年1月23日（金）15時00分～16時30分

2 場 所 県行政庁舎 6階 災害対策本部室

3 出席者

中尾委員，柿沼委員，中道委員，酒匂委員，地頭菌委員，廣井委員，磯打委員（※），入江委員，前田台長

※ オンライン出席の委員

4 議事概要

(1) 災害想定（地震動、液状化、土砂災害、津波）の予測手法の検討について

(2) 被害想定項目の検討について

(3) 人流データによる想定シーンの検討について

5 委員からの主な意見等

<災害想定（地震動、液状化、土砂災害、津波）の予測手法の検討について>

- 津波の「計算上生じる不適切な短周期の波を除去する」という文言は、誤解を生まないよう、「津波の初期波形において不適切な波を除去する」というような文言に変えたほうが良い。

- 津波において「地震により水平方向の近く変動が生じる」という内容など、掲載されている図と手法と記述が整合していない。

<被害想定項目の検討について>

- 液状化による港湾の被害は考慮されているか。鹿児島県では沿岸部の液状化危険度が高いように見える。
- 帰宅困難者に県外・外国からの観光客を加えてほしい。
- 離島の物資について、過不足量とすると市町村にとって負担が大きいのではないか。本土に物資があり、輸送が前提となる場合もあると思う。
- 観光の面と物資の面を組み合わせるシナリオ的な検討ができないか。シナ

リオについては、内閣府での検討でシーン別・主体別・場所別のシナリオを作成しているので、ぜひそのような整理ができるとよい。

- 被害想定項目について、量的な評価、質的な評価の分けやフェーズごとの整理など、シナリオの作成を踏まえて整理してほしい。

<人流データによる想定シーンの検討>

- 人流データについて、人口統計のデータと比較してほしい。